

**R354**  
だより

# 玉村町住民活動サポートセンター **ぱる**

**第8号**

玉村町の中央を通る R354  
のように人と人を結ぶ場所  
になりたいと願いを込めて

“一般社団法人たまむら住民活動支援センター”は、  
玉村町から住民活動サポート業務を受託しています。

**特報**

## 異分野との連携の輪を広げたい **ぱる登録団体活動紹介ハンドブック発行!** 活動紹介・発信から連携・協働へのきっかけに



発行された活動団体紹介  
ハンドブックの表紙

玉村町住民活動サポートセンターに登録している団体の活動を紹介した「ぱる登録団体活動紹介ハンドブック」が完成しました。

平成22年に「玉村町住民活動推進センター」として設置されて以来、センターに登録する団体や個人の数が増え続け、3月末現在で60団体を超えました。

今回、各団体の活動を広く知ってもらうことや異分野との連携の輪を広げることを目的に活動紹介ハンドブックにまとめ、200部発行しました。

このハンドブックの活用により、各団体の活動が一層活発化し、町や地域を活性化するとともに、他団体や行政、大学、企業などの異分野とも連携・協働へつなげてほしいと思います。

### 報告

## 第1回ぱる祭り 多彩な活動が結集! 活動の紹介や他団体と交流を楽しむ!

日頃それぞれの場所、それぞれの時間帯で活動をしている団体や個人がふるハートホールに集結し、「第1回ぱる祭り」が3月8日（日）に開催されました。

会場いっぱいに登録団体・個人のパネル展示や体験、作品の販売が行われ、ステージでは、フラや日舞、民謡踊り、だんべえ踊り、コーラス、振袖・袴の着付けショーなどが発表されました。

また、異分野連携として角田病院メディカルチェックや健康体操、障害福祉センターたんぼの物品販売、MJF食べ物販売が行われました。生活クラブ生協の「たまむらカレー」はエコ割引もあり、好評でした。

今回、それぞれの活動の様子を紹介し合い、新たな発見をする場となりました。また、仲間を増やしたり、他団体と交流したり祭りは大盛況で終了しました。



## 平成26年度主催事業報告

# ぱる交流会

<p><b>第21回</b></p>	<p>「住民活動パワーアップ・ワークショップ」 —課題を共有すれば、解決の糸口が見つかる!—</p>	<p>日時：平成26年5月13日(火) 場所：ぱるミーティングスペース</p>
	<p>活動を進める上で、情報の発信方法や会員不足など、悩みごとを抱えている団体もあるため、アドバイザーにボランティア・サロンぐんま峯岸赫子さんを迎え、課題解決の糸口を見つけるワークショップを行いました。</p> <p>①住民活動ワークショップ：日頃団体が抱えている課題や悩みごとを出し合ってみる。 ②課題の分類：課題を「情報」「人」「場所」に関することに分類。 ③解決策の提示：どうすればよいか解決策を書き出す。 ④アドバイス：課題は共通することが多く、難しく考えず情報を共有することで、解決策は見つかる。ぱるを大いに活用して、悩みごとを抱え込まないこと。</p>	
<p><b>第22回</b></p>	<p>こうすればまちは元気になる! 「活かそう企業力!住民力!」 —企業の社会貢献活動との連携—</p>	<p>日時：平成26年8月26日(火) 場所：ふるハートホール</p>
	<p>企業の積極的な社会貢献活動の事例を話していただき、住民活動との連携を探りました。医療法人樹心会角田病院地域連携課の小林一幸さんから、地域医療の充実が地域の元気につながるということで、出張の健康講座やリハビリ体操の指導などの事例、群馬ヤクルト販売(株)CS推進部次長大塚智義さんと主任町田朝美さんから、腸内から健康づくりを目指し、健康教室を行っている事例、TSUTAYA タマムラブックセンター青木小百合さんから、地域密着の活動への努力が成果を上げ、社内で高い評価を得られた事例を紹介していただきました。来場者の方は、社会貢献活動に興味をもち、企業努力に感心していました。</p>	
<p><b>第23回</b></p>	<p>こうすればまちは元気になる!その2 「住民と企業の連携でパワーアップ!」 —住民活動団体と異分野のコラボ事例—</p>	<p>日時：平成26年11月11日(火) 場所：ふるハートホール</p>
	<p>企業との連携を行っている事例として、角田病院地域連携課小林一幸さんから「岩倉水辺の森フェスタ」参加した成果報告をしていただき、玉村町社会福祉協議会事務局長大墳寿史さんからは、玉村町における福祉活動の現状を説明していただきました。長野市からながのボランティア・市民活動ネットワーク代表込山哲也さんと理事戸田千登美さんから支援ネットワークづくりの苦労と仕組みについて説明していただきました。</p> <p>異分野同志が連携することで人や物、情報などの資源を活かすことができ、より良い地域社会づくりにつながる事が分かりました。</p>	
<p><b>第24回</b></p>	<p>住民力 集う! 第1回「ぱる祭り」</p>	<p>日時：平成27年3月8日(日) 場所：ふるハートホール</p>
	<p>玉村町住民活動サポートセンターぱるに登録している団体・個人の活動を紹介し、新規会員の勧誘や登録者間の交流の場として、第1回の祭典が行われました。今回、29団体・3個人の参加で、ステージ発表やパネル展示、体験や販売のブース、食品販売もあり、多くの来場者でにぎわいました。</p> <p>この「ぱる祭り」は、第21回ぱる交流会において、「活動を発信する場やぱる登録者間の交流する場が欲しい。」という要望があり、今回の開催となりました。それぞれの活動紹介が実りのあるものになり、住民力の熱気あふれる交流の場となりました。</p>	
<p>《協力事業》</p>	<p>井田家主屋国有形文化財登録記念事業「いしざかびんが・酒蔵シャンソンライブ」</p>	
	<p>9月27日、旧日光例幣使道沿いの井田家主屋が国登録有形文化財に登録されたのを記念して、井田家の酒蔵において、シャンソン歌手のいしざかびんがさんのライブが行われました。同時に井田家と玉村八幡宮の史跡ミニツアーも実施されました。この事業において、ぱるは、ライブチケット販売や運営実行委員会の一員として関わりました。</p>	



# 平成26年度支援事業報告

支援事業：実行委員会をばるはサポートして  
行う事業

<b>◆フラフェスティバル+たまたん誕生会</b>		
日時：平成26年6月1日(日) 13:00~15:30 場所：玉村町北部公園ステージ	北部公園の青空の下、ウクレレとフラのサークル9団体が参加。たまたんの誕生会には、甘楽町かんらちゃん、南牧村なんしいちゃんも駆けつけ、一緒に「たまたんのうた」を披露しました。	
<b>◆ふるさとまつり たまたん広場&amp;354ばる deBAR</b>		
日時：平成26年7月26日・27日 場所：①玉村小学校低学年棟前庭 ②旧桐生信用金庫駐車場	まつり1日目：たまたん広場でちんどん倶楽部、バルーンアート、フラダンス、玉中吹奏楽、玉高生バンド演奏。まつり2日目：世界の料理フードコート。ブラジル串焼き、餃子、焼き鳥、唐揚げなど。	
<b>◆岩倉自然公園水辺の森プロジェクト</b>		
岩倉水辺の森せせらぎ水遊び 日時：平成26年8月3日(日) 10:00~12:00 場所：岩倉自然公園水辺の森エリア	夏の暑い日差しを避け、木陰で紙芝居を見たり、竹馬や輪投げ、スイカ割りなどをしたり、小川に入って魚を見つれたりして、子どもたちは自然の中で楽しいひと時を楽しく過ごしました。	
岩倉水辺の森フェスタ2014 日時：平成26年9月14日(日) 10:00~15:00 場所：岩倉自然公園水辺の森エリアにぎわい広場	第3回のフェスタ。《踊り》はお馴染み「サンバ玉村」からだんべえ踊り、フラとウクレレの「たまたんのうた」。《遊び》は、竹細工、むかしあそび、ミニ電車。《食》は、15のテントブースと4つの移動販売車。《体験》は、スポーツチャンバラ、ノルディックワーク、角田病院メディカルチェックなど、多彩でにぎわいました。	
岩倉自然公園 自然野鳥観察会 日時：平成27年2月15日(日) 10:00~12:00 場所：岩倉自然公園・烏川河川敷	木の葉がない冬の木々は、野鳥観察には最適。静かな森を歩きながら、鳥のさえずりを聴いて姿を探したり、川辺の白鳥を観たり、生息する様子を観察しました。また、ゴミ拾いも行い、森や川辺をきれいにしました。	
<b>◆こどもフェスティバル実行委員会(協働によるまちづくり提案事業)</b>		
国際こども遊びフェスティバル in 玉村 日時：平成26年7月13日(日) 10:00~14:00 場所：ふるハートホール	《食べて》ブラジルバーベキュー、そうめん流し、かき氷。《遊んで》子どものけんりカルタ、バンブーダンス、リンボーダンス、むかしあそび。《見て》ウクレレ演奏、オーケストラ演奏、フラダンス、世界の子どもの写真展。外国の子ども達もたくさん参加し、大賑わいでした。	
<b>◆竹活用実行委員会(協働によるまちづくり提案事業)</b>		
親子竹細工教室 日時：平成26年8月24日(日) 10:00~12:00 場所：ふるハートホール	夏休みに親子で力を合わせ、竹けん玉、竹とんぼ、竹馬、竹鉄砲、貯金箱などの中から作りたい物を選んで、のこぎりやナイフを使って工作しました。	
親子竹馬教室 日時：平成26年11月9日(日) 9:00~15:00 場所：玉村中学校地域交流スペース	竹藪に入って自分で竹馬にする竹を選んで切り出し、足の台を取り付けて竹馬を完成させました。親子で竹馬乗りに挑戦するほほえましい姿も見られ、貴重な体験と触れ合いに子ども達も保護者の方も満足していました。	
親子たこ作り教室 日時：平成26年12月14日(日) 9:00~15:00 場所：玉村中学校地域交流スペース	お正月を前に親子でたこ作りをしました。日本古来の和だこや連だこになるダイヤだこを作るのに挑戦と思い思いの絵を描き、竹の骨組みに揚げ糸を付けて完成です。風に乗って空高く舞い揚げられました。	
ばる de 新春! 日時：平成27年1月18日(日) 13:00~15:30 場所：ふるハートホール	《新春ステージ》、《竹を使った健康体操》、《竹の〇×クイズ》、《お正月遊びスタンプラリー》、《活動の写真と竹作品の展示》、《たまたん&ジャンケン大会》など、盛りだくさんのバンブーワールドまつりでした。	

## 竹活用実行委員会 角田病院ギャラリーで展示

1月18日(日)に「ぱる de 新春!...バンブーワールドまつり...」が行われました。新春ステージや竹を使った健康体操など大好評でした。

会場に展示されていた活動の写真や親子教室で作った竹作品などが、角田病院の院内ギャラリーに移され、1月20日から2月13日まで展示されました。

来院された方々は、展示された竹作品に興味深そう眺め、懐かしさや癒やしを感じていたようです。



竹の棒健康体操



角田病院院内ギャラリー



## 水辺の森有効活用実行委員会 自然野鳥観察会開催しました

2月15日(日)岩倉自然公園で「自然野鳥観察会 & クリーン作戦」が行われました。

日本野鳥の会会員の久美子さんのナビゲートに参加者は、野鳥のさえずりに耳を傾けながら双眼鏡や望遠鏡を覗き、鳥の姿を懸命に探しました。

しょうびん沼では青色がきれいなカワセミが見られ、今回24種類の鳥を確認することができました。同時に公園内に落ちているゴミも拾い、豊かな自然環境を守る大切さも学んだ観察会でした。



鳥を懸命に探す参加者



ナビゲーターの大川さん

## ウクレドリームプランたまむら ウクレレの授業を拝見

「玉村町の小学校の授業にウクレレの授業を!」と提案された事業は、町内小学校3校で授業が、2校がクラブ活動として、行われています。

今回、南小の4年生の音楽の授業を見学しました。基本の指使いを習い、簡単なコードで「みんなのたまむらカレー」を弾けるまでになりました。

各小学校の児童がデザインした「たまたん」の絵入りのウクレレがそれぞれの学校に寄贈されました。



ウクレレ授業の様子



学校にウクレレが贈られました

## こどもフェスティバル実行委員会 「子どもけんりカルタ」出前授業

子どもの権利条約の周知と子どもの権利を守り育てるまちづくりの活動として、12月から3月にかけて町内の小学校において、「子どものけんりカルタ」の出前授業を実施しました。

出前授業では、「絵札・読み札両方取り」や「A3判ジャンボカルタ取り」など、楽しく遊びながら子どもの権利や人権尊重の精神が学べるように工夫されています。

人権学習や生活科、親子行事等で実施され、心の教育もつなぐと好評でした。



ジャンボカルタを楽しむ子ども達



心に残ったことばの発表

## 公設民営中間支援センター運営者交流会in玉村

報告

群馬県内には、13の市民活動を支援する中間支援センターがあります、そのうち5施設がぱると同じ公設民営の形態をとっています。今回、公設民営の中間支援センターの運営者と行政の方をぱるにお招きし、交流会が行われました。

行政から委託され、運営するなかでのメリットやデメリット、今年度の自慢の事業、来年度の抱負などが話し合われました。

各センターからは、行政連携と市民活動支援との間に立ちながらも、独自の手法で運営と事業を行い、特色のあるセンターづくりと活動支援を行っていることが紹介されました。



### ～掲載記事の募集～

活動の紹介やイベントの告知、会員の募集などぱるの広報誌に掲載します。詳しくは、ぱるのスタッフにご相談ください。

発行：一般社団法人 たまむら住民活動支援センター  
問合せ：玉村町住民活動サポートセンターぱる  
〒370-1132 玉村町下新田208番地4  
TEL/FAX 0270-65-7155  
H P : <http://www.kyoudou-tamamura.org/>  
E-mail : [pal@kyoudou-tamamura.org](mailto:pal@kyoudou-tamamura.org)